

2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 技研ホールディングス株式会社
コード番号 1443 URL <http://www.giken-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 ベジ

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐々木 ベジ

TEL 03-6635-1839

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,570	9.3	450	14.1	608	14.4	414	20.7
2024年3月期第3四半期	3,935	7.7	394	9.9	531	12.1	343	11.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 95百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 1,035百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	25.54	
2024年3月期第3四半期	21.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,548	10,952	66.2
2024年3月期	17,228	11,064	64.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 10,952百万円 2024年3月期 11,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		1.00	1.00
2025年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	9.1	520	1.7	650	1.6	450	1.3	27.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	16,237,977 株	2024年3月期	16,237,977 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,441 株	2024年3月期	3,289 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	16,234,624 株	2024年3月期3Q	16,235,113 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による物価の高騰等インフレ懸念があるもののインバウンド効果による国内消費の回復もあり、景気の持ち直しの動きがみられました。一方で国際情勢としては、ウクライナ情勢や中国の景気悪化、米国でのトランプ政権による関税を含めたドラスティックな改革など、依然として予断を許さない状況が続いております。当社グループの主要事業である建設業界におきましては、民間設備投資は一部回復傾向が見られるものの、慢性的な技術労働者不足と建設資材の高騰により全体として建設コストがアップすると共に、これに加えて受注競争も激化しており、業界動向としては、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、社会資本整備の一翼を担う企業集団として、自然災害の復旧支援、医療施設の改修事業等、国民の安全と豊かな暮らしの土台形成のための事業展開を行ってまいりました。

この結果、受注高は、前年度から回復し、前年同四半期比9.1%増の4,221百万円となりました、売上高は、前年同四半期比9.3%減の3,570百万円となりましたが、固定費用の削減等により、営業利益は、前年同四半期比14.1%増の450百万円、経常利益は前年同四半期比14.4%増の608百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比20.7%増の414百万円となりました。

当社グループの前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	2,396,407	3,868,412	3,935,630	2,329,189
当第3四半期連結累計期間	2,139,345	4,221,810	3,570,212	2,790,943

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土木関連事業)

法面保護工事が主体の当事業は、受注高につきましては昨年と同程度の推移に落ち着き、前年同期比4.3%減の726百万円、売上高につきましては前年同期比38.4%増の705百万円、営業利益につきましては、前年同期比27.2%増の59百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	255,267	758,905	510,124	504,047
当第3四半期連結累計期間	254,993	726,457	705,858	275,592

(建築関連事業)

医療施設向けの放射線防護・電磁波シールド工事等が主体の当事業は、新築物件・改修工事等の物件数が持ち直した結果、受注高につきましては前年同期比19.9%増の2,371百万円、売上高につきましては前年同期比14.1%減の1,960百万円、営業利益につきましては、前年同期比12.0%減の241百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	1,949,965	1,978,434	2,282,860	1,645,539
当第3四半期連結累計期間	1,709,995	2,371,375	1,960,931	2,120,440

(型枠貸与関連事業)

消波根固ブロック製造用型枠の賃貸及びコンクリート二次製品の販売が主体の当事業は、災害復旧関連の公共事業の発注案件が安定した結果、受注高につきましては前年同期比1.0%減の1,063百万円、売上高につきましては前年同期比21.2%減の846百万円となり、営業利益につきましては、前年同期比17.9%増の352百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	110,084	1,074,229	1,074,522	109,790
当第3四半期連結累計期間	171,977	1,063,996	846,569	389,404

(その他)

その他の分野には、不動産賃貸事業、海外での事業等をまとめてその他としております。受注高につきましては前年同期比5.5%増の59百万円、売上高につきましては前年同期比16.5%減の56百万円、営業利益につきましては前年同期比128.9%増の8百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	81,090	56,844	68,122	69,811
当第3四半期連結累計期間	2,378	59,982	56,853	5,506

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、679百万円減少し16,548百万円となりました。減少した主な要因は、現金預金、投資有価証券の減少であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、567百万円減少し5,596百万円となりました。減少した主な要因は、借入金の減少であります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少が508百万円、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が414百万円であったこと等から、前連結会計年度末に比べ、112百万円減少し10,952百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0ポイント増加し66.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の事業環境及び第3四半期までの実績を踏まえて今後の業績見直しを見直しました。

第3四半期の実績として、受注高は、前年度から回復し、前年同四半期比9.1%増の4,221百万円となりました。売上高は、前年同四半期比9.3%減の3,570百万円となりましたが、固定費用の削減等により、営業利益は、前年同四半期比14.1%増の450百万円、経常利益は前年同四半期比14.4%増の608百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比20.7%増の414百万円となりました。このような四半期決算の実績数値と今後の外部環境等の見直しを踏まえ、今回、2025年3月期の業績予想を修正することとしました。

2025年3月期の業績予想は、売上高は、前年同期比9.1%減の4,700百万円、営業利益は、前年同期比1.7%減の520百万円、経常利益は、前年同期比1.6%増の650百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比1.3%増の450百万円となり、1株当たり当期純利益の予想は、27.72円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,388,582	1,846,927
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	1,435,182	1,730,428
有価証券	229,975	219,961
棚卸資産	512,217	525,894
その他	107,701	29,687
貸倒引当金	△4,538	△6,769
流動資産合計	4,669,120	4,346,131
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,815,732	4,815,732
その他(純額)	1,411,854	1,351,877
有形固定資産合計	6,227,586	6,167,609
無形固定資産		
その他	74,535	43,855
無形固定資産合計	74,535	43,855
投資その他の資産		
投資有価証券	6,221,237	5,952,077
その他	97,405	100,606
貸倒引当金	△61,342	△61,342
投資その他の資産合計	6,257,299	5,991,340
固定資産合計	12,559,422	12,202,806
資産合計	17,228,542	16,548,937
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,250,383	1,197,862
1年内返済予定の長期借入金	606,968	483,439
未払法人税等	175,279	176,701
契約負債	48,117	197,406
引当金	37,294	19,063
その他	349,884	329,828
流動負債合計	2,467,926	2,404,300
固定負債		
長期借入金	3,208,025	2,948,758
退職給付に係る負債	75,464	61,724
引当金	25,023	15,099
繰延税金負債	347,928	130,039
その他	39,385	36,236
固定負債合計	3,695,826	3,191,857
負債合計	6,163,752	5,596,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	7,515,762	7,914,177
自己株式	△841	△869
株主資本合計	10,108,762	10,507,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	949,597	441,007
退職給付に係る調整累計額	6,430	4,621
その他の包括利益累計額合計	956,028	445,629
純資産合計	11,064,790	10,952,778
負債純資産合計	17,228,542	16,548,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	3,935,630	3,570,212
売上原価	3,019,446	2,610,429
売上総利益	916,184	959,783
販売費及び一般管理費	521,683	509,623
営業利益	394,500	450,159
営業外収益		
受取利息	419	240
受取配当金	165,706	195,853
助成金収入	3,082	-
その他	12,245	9,556
営業外収益合計	181,454	205,649
営業外費用		
支払利息	39,811	40,849
その他	4,161	6,449
営業外費用合計	43,973	47,299
経常利益	531,981	608,509
特別利益		
投資有価証券売却益	27,649	12,074
特別利益合計	27,649	12,074
特別損失		
固定資産除売却損	454	19
特別損失合計	454	19
税金等調整前四半期純利益	559,176	620,565
法人税、住民税及び事業税	220,268	196,780
法人税等調整額	△4,644	9,135
法人税等合計	215,624	205,916
四半期純利益	343,552	414,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	343,552	414,649

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	343,552	414,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	692,369	△508,589
退職給付に係る調整額	△347	△1,808
その他の包括利益合計	692,021	△510,398
四半期包括利益	1,035,573	△95,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,035,573	△95,749
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたって認識する収益	510,124	2,140,096	-	2,650,220	-	-	2,650,220
一定時点で認識する収益	-	142,764	124,983	267,748	20,501	-	288,249
顧客との契約から生じる収益	510,124	2,282,860	124,983	2,917,968	20,501	-	2,938,469
その他収益	-	-	949,538	949,538	47,621	-	997,160
外部顧客への売上高	510,124	2,282,860	1,074,522	3,867,507	68,122	-	3,935,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	510,124	2,282,860	1,074,522	3,867,507	68,122	-	3,935,630
セグメント利益	47,072	274,064	299,059	620,196	3,755	△229,450	394,500

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△229,450千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたって認識する収益	477,906	1,812,846	-	2,290,752	-	-	2,290,752
一定時点で認識する収益	-	148,084	89,901	237,986	6,576	-	244,562
顧客との契約から生じる収益	477,906	1,960,931	89,901	2,528,738	6,576	-	2,535,315
その他収益	-	-	984,619	984,619	50,277	-	1,034,897
外部顧客への売上高	477,906	1,960,931	1,074,521	3,513,358	56,853	-	3,570,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	477,906	1,960,931	1,074,521	3,513,358	56,853	-	3,570,212
セグメント利益	59,885	241,128	352,720	653,734	8,595	△212,170	450,159

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △212,170千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	115,158千円	110,791千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。